

南高図書館だより

2026年1月号
浦和南高校図書館

図書委員のおすすめ本



70年分の夏を君に捧ぐ

櫻井千姫／著 スターツ出版(スタートズ出版文庫)

「生き抜け！二つの魂は時空を超えて——。」

2015年の夏に百合香は、謎の空間で知らない女の子とすれ違う夢を見た。次に目を覚ましたら、夢ですれ違った女の子・千寿と入れ替わり、70年前の終戦直前の広島にいた。その時千寿も百合香の体に入っていた。その日から2人は1日ずつ入れ替わりを繰り返していくことになる。70年前と現代による価値観の違いによる人間関係の拗れや、入れ替わりの意味など一度読み出したら止まらない、戦争について考え

させられる作品です。

orange【オレンジ】 1

高野莓／原作・イラスト、時海結以／著 双葉社(双葉社ジュニア文庫)

ある日突然、10年後の自分から手紙が届く。転校してきた同級生の翔が亡くなってしまうことが書かれた手紙だった。手紙をもらった菜穂はそれをもとに翔を救おうとする。今までなかなか自分をさらけ出せない菜穂であったが、翔を救うために勇気ある行動を起こす。自信がついてだんだん成長していく菜穂と仲間の強い絆を描いた青春ストーリーです。



コーヒーが冷めないうちに

川口俊和／著 サンマーク出版

この本は、時間旅行をテーマにした小説です。舞台は過去に戻れる不思議な喫茶店で、客は一杯のコーヒーが冷めるまで過去や未来に戻り、未解決の問題に向き合います。時間の限界と向き合いながらも、心温まる結末がとても印象的です。私は、時間の大切さと人生の選択について考えさせられました。人生の選択や後悔をテーマにした物語が好きな人や、ちょっとした癒しを求めている人におすすめです。ぜひ読んでみてください。

図書館からのお知らせ

◆高校生向け◆

令和7年度 埼玉県推奨図書を紹介！

埼玉県が薦める青少年のみなさんに読んでほしい本「令和7年度 埼玉県推奨図書」を紹介します。

	書名	著者	出版社
1	牛乳から世界がかわる酪農家になりたい君へ	小林国治／著	農山漁村文化協会
2	宇宙はなぜこんなにうまくできているのか	村山斉／著	集英社
3	隣人のうたはうるさくて、ときどきやさしい	白尾悠／著	双葉社
4	よむよむかたる	朝倉かすみ／著	文藝春秋
5	注文に時間がかかるカフェたとえば「あ行」が苦手な君に	大平一枝／著	ポプラ社

それぞれの本の内容紹介はココで読めます

現在、「令和8年度 埼玉県推奨図書」の候補本を募集中！
埼玉県HPから応募できます(3/3(火)メ切)。詳細はコチラ



あなたも挑戦！「図書館たほいや」クイズ ～次のお題の正解は？～

お題【春】 出典：『日本語表現大辞典 比喩と類語三万三八〇〇』(小内一／著 講談社)

※村上春樹の文章を当ててください※

- 1、「岸に近い海面が春の海藻の丹にのいろに染まる」
- 2、「ぼんやりとした春特有の不透明なヴェールに被おおわれた空」
- 3、「午後の日が暖かに春を炙あがつている」
- 4、「春の夜のような心のときめき」

ヒント(正解以外の文章※五十音順)：芥川龍之介、梶井基次郎、三島由紀夫

正解は一番下にあります↓



新着図書PICKUP

12月に新しく入った本



知識の本

最新教育費と奨学金の基本と仕組みがよ〜くわかる本 25年度多子世帯大学等の無償化にも対応

進路コーナー

石橋知也／著 秀和システム

大学進学には、どのくらいお金が必要か？ 日本学生支援機構の奨学金の仕組みや、給付型と貸与型奨学金の違いと特徴をはじめ、教育ローンや学資保険など進学の備えを詳しく解説。

関連本で、日本の給付型奨学金の主要なものを網羅したデータブック『大学進学のための“返さなくてよい”奨学金ガイド』も新しく入っています。

昔話の民俗学入門 民間伝承の秘密を読み解く

島村恭則／著 創元社

「桃太郎」の「桃」はなぜ山から下ってきたのか？「傘地蔵」はなぜ六体なのか？「浦島太郎」の玉手箱に入っていたものは？「因習村」は実在するのか？ 昔話や伝説、世間話、都市伝説、神話に焦点を当て、それらに潜む日本土着の世界観を、民俗学で明らかにする。昔話をもっと知るためのブックガイド付き。

読書する脳

毛内弘／著 SBクリエイティブ(SB新書)

読書とは、単なる情報収集ではない。ページをめくって文字を追ったり、物語に没入するとき、脳では「静かな、しかし豊かな変化」が起きている。なぜ、紙の本で読んだ本は記憶に残りやすいのか？ なぜ、物語を読むと登場人物に感情移入できるのか？ 本書では、読書が私たちの思考力や想像力を高める驚きのメカニズムを、専門家の視点から最新の脳科学をもとに解き明かす。

メイド・イン・ジャパン 日本文化を世界で売る方法

佐々木敦／著 集英社(集英社新書)

音楽、文学、映画、演劇など、日本のサブカルチャーにおいて、世界的に著名な作家や作品はあるものの、「輸出商品」として盛り上がっているとは言い難い。アニメや漫画やゲームの次に、日本文化が全世界的に流行する日は来るのか。そのための条件とはなにか。国内外の作品を通して、日本文化が世界を制覇する方法を探る。

古代文字を解読していたら、研究に取り憑かれた話

大城道則／ほか著 ポプラ社

考古学者は古代文字に取り憑かれて、文字を読んでいないと落ち着かない。文字を読む仕事の息抜きにスマホで「なろう系」小説を読みあさり、発掘現場で黄金よりも文字資料が出土してほしいと願い、フェニキア人の研究のために彼らを征服したローマ帝国の公用語・ラテン語を学ぶ。文字に翻弄されてきた3人の研究者たちが、その文字にまつわる話を綴る。

AI時代になぜ英語を学ぶのか

町田章／著 文藝春秋(文春新書)

ことばは思考の道具であり、ものの見方や世界の捉え方を形作っている。主に英語と日本語を比較しながら、言語と思考、言語と文化の関係について考察し、外国語を学ぶことの教養的意義について論じる。



小説・文学

成瀬は都を駆け抜ける

宮島未奈／著 新潮社

膳所高校を卒業し京大生となった成瀬あかりは、京都の街をひた走る。大失恋後の同級生、達磨研究会なるサークル、簿記YouTuber、娘とテレビ取材を受ける成瀬の母、成瀬に憧れつづける男子大学生と、彼女を取り巻く人間関係は少しずつ変化していく。一方、東京の大学に進学した成瀬の幼なじみの島崎に、ある知らせが…。『成瀬は天下を取りにいく』『成瀬は信じた道をいく』と続いた成瀬シリーズ、完結！

小麦畑できみが歌えば

関おる／著 KADOKAWA

小麦農家でこのびのび育った唯吹は、地元のオペラプロジェクトのオーディションを受けると、特別な歌声で審査員を魅了する。技術不足で不合格になるが、アメリカで開催される有名オペラ学校の研修生になるためのオーディションに招かれる。すばらしい楽器(声)を持っているもの、勉強と努力を重ねて技術を磨いてきたもの… 様々な参加者と、唯吹はグループ審査に挑む。

歌よみに与ふる書

正岡子規／著 永井祐／訳 左右社

紀貫之も柿本人麻呂もばつさり！ 明治31(1898)年に現状の和歌をほとんど全否定した短歌史のマスターピースにして批評の名著を、現代短歌界のトップランナーが現代語訳。正岡子規十首鑑賞、解説、原文も収録する。

返し忘れの本、ありませんか？

もうすぐ年度末です。

返却期限が過ぎたまま 返し忘れていた本は

ありませんか。

心当たりのある人は きちんと返却して

気持ちよく春休みを迎えましょう！